

# 子供の町 だより

創刊： 昭和24年11月

発刊： 社会福祉法人 子供の町  
児童養護施設 子供の町  
児童養護施設 エンジェルホーム  
地域小規模児童養護施設 菜の花

住所： 〒344-0112  
埼玉県春日部市西金野井 337

TEL： 048-746-0206

FAX： 048-746-9215

H P： <http://kodomonomachi.jp/>

## 「夏祭り」

社会福祉法人子供の町  
理事長 齊之平 伸一

厳しい暑さが過ぎ、秋の気配が感じられる季節になりました。

日頃は、子供の町に対しまして、心温まるご支援をいただき感謝申し上げます。

恒例の「子供の町夏祭り」を、8月25日に開催いたしました。

可愛い幼児神輿、ダンスクラブによるリズムに乗ったパフォーマンス、クイズ大会決勝戦そして暗くなるころに打ち上げられた夜空を彩る花火と、盛りだくさんのイベントが行われました。

今回の夏祭りにも、子供の町近隣地区の方々、寄付を頂いているの方々、後援会の方々、春日部グローバルファミリーの方々、学習ボランティアの方々など多くの皆様に参加いただきました。グローバルファミリーの方々には、おいしいパキスタンのカレー、韓国のチヂミ等を模擬店でご提供いただきました。

子どもたち、職員の皆さんは夏祭りのパフォーマンスに間に合うよう一生懸命練習をしていました。良い思い出がつけられたと思います。

今後もご支援、ご協力のほど、宜しくお願い致します。

## 「夏、今昔」

子供の町施設長 根岸 昇

「緑蔭にいこう子、虫とりにつけずり廻る子、野球練習にはげむ子たち、園は子供一パイです。・・・7月29日から8月1日まで勝山臨海訓練参加の55名は胸をはずませてまちこがれています。・・・」昭和37年7月25日発行『子供の町だより』の一文です。

今から57年前の夏休みの子どもの様子が窺えます。私が児童指導員として就職した42年前も小4・6・中1年50数名を引率し、千葉県安房勝山の極楽寺本堂で寝泊まりする臨海訓練を実施していました。厨房職員も同行し3食自炊生活でした。

さて、7月末まで梅雨寒が続き、8月に

入ると猛暑続き。夏休みの宿題は早めにはかどったのかな？ 昨年は8月当初に稲穂が首を垂れていたように記憶しています。毎年、この時期になると、全国の児童相談所に寄せられた前年度の児童虐待相談件数速報値が発表されます。2014年度は88,931件(母救済!)でしたが、**2018年度は159,850件(一刻も早く来ないと、命が危険!)**。数字に弱い私は語呂合わせをして覚えるようにしていますが、いかがでしょうか。通報から48時間以内に子どもを目視する安全確認ルールは、埼玉県中央児相が発祥だと思います。なぜ48時間以内なのでしょう。当時、中央児相の副所長だった故藤井東治さんに聞いたことがあります。「金曜日に通報があっても土日閉庁では動けない。なんとか48時間以内ならば目視が可能ではないかと考えた。」虐待事案に対する警察介入が無かった時代と今は違いますが、一刻も早く誰かが来ないと命が危険なんだ!という子どもの叫びだと大人社会が受け止めるべき数値です。

さて、夏休み中の親族宅への外泊状況をご紹介します。外泊できたのは子町・エンジェル合計で29名在籍134名の21.6%。エンジェルはたった1名だけです。面会・外泊ともなかった子どもは73名(54.5%)。外泊できない理由は「被虐待等で児相の許可なし」が42名(42/98≒42.8%)です。面会・外泊とも出来ない子どもたちの心情に寄り添った個別支援として、どのような支援が必要なのだろうか。外食・映画鑑賞・カラオケ等もあって良いのでしょうか、果たしてこれで良いのでしょうか。職員の声としても

「幼児・低学年の子どもだけでも、未委託里親さんとの面会交流・外泊交流が出来ないだろうか」という意見が出ています。里親委託推進事業の一つとして企画できないだろうか。

今春、措置延長で施設から大学進学したS君。8月5日~25日まで大学の夏期海外研修でカナダに行きました。子供の町70年の歴史の中で、在園中に海外留学は初めてのケースです。児童養護施設に在籍し



ながら大学進学し、海外短期留学するなどということは、かつては想像すらできなかったことで

す。中高生32名と個別面談をしました。が、中学生女の一人は「医者になりたい!」と夢を語ってくれました。確かに成績は良好です。でも、私は彼女からまさか「医者になりたい!」という言葉が聞けるとは想像すらしたことがありませんでした。子どもたちは、職員・大人の想定をはるかに超えていくエネルギーと可能性を持っているのだと痛感しています。

### 「2019 夏」

エンジェルホーム施設長 坂本 仁志

9月の園庭は、夏の日毎日の賑わいから、爽やかな秋風が吹きぬけ、ひっそりとした静けさを感じます。令和になって初めての夏休みが終わりました。皆さんは、今年の夏、どんなことがありましたか。

私にとっては、エンジェルホームに着任し初めての夏休みでもあり、この園庭で8月25日に開催された子供の町・エンジェルホームの夏祭りも初体験でした。

当日は、地域の方々やボランティアさん

はじめ多くの方が来園してくださり、盛大で賑やかなお祭りに大変驚きました。ダンスクラブのパフォーマンスや子ども神輿にクイズ大会等、様々な催しがありましたが、特に驚いたのは、職員だけでなく子どもたちの有志が模擬店のお手伝いをしていたことと、沢山の卒園生が来園していたことです。

模擬店でのかき氷作りや綿あめ作りなど、夏祭りの運営に子どもたちが直接関わっていたのを見て、自らお手伝いに立候補してくれた子どもにとっても、多くの人から感謝され、自信にも繋がる体験だったのではないかと感じました。

また、卒園生の多くは友人同士、連絡取り合っ  
て顔を出してくれていたよう



で、職員や在園児と懐かしそうに談笑していて、この夏祭りが同窓会のような位置づけにもなっているのだと感じました。卒園した子どもたち(当時は)にとって、ある意味気兼ねなく来園できる機会となっていることは、夏祭りの意味深さを感じました。



この日のために早い時期から準備を進めてきた実行委員の皆さんの頑張り、そして当日の会場設営や後片付けは職員が一丸となり、プラス中高生が率先してお手伝いをしている姿も施設の全体行事としての、一体感が感じられるイベントであったと思います。何よりも子どもたちだけでなく参加してくれていた地域の方々やボランティアさん等、大人も笑顔・笑顔が印象的な夏祭りでした。

もう一つ、この夏休みの印象に残る思い出は、8月19日に開催された児童福祉施設

親善球技大会です。早朝から大会に向けた練習に加えて遠征合宿を実施して臨んだ大会では、本当に試合に出ている選手だけでなくベンチから応援する子どもと職員も一つのボールに集中し全体で試合に臨んでいる姿が印象的でした。間違いなくベンチからの「声だし」は参加チーム一番だったと思います。


試合の結果は、一回戦は攻守とも練習の成果が発揮され、完勝することができました。何よりこの勝利をチーム全員の力の結果として全員で心から喜ぶことが出来ました。

二回戦では、現実の力の差を見せつけられる結果となってしまいましたが、最後まで全力でボールを追いかけ走り回る選手、その選手を後押しするベンチからの声は、観ていて心を打つものがありました。球技大会への参加を通して、子どもたち一人ひとは、大きく成長した姿を見せてくれました。

そして、夏休み中、中高生の児童と個別面談の時間を設けていただきました。一人ひとりと話をすることは、初めての子どものほとんどでしたので、お互いに緊張した面持ちでしたが、施設や学校での様子、将来の進路希望などを聞かせていただきました。それぞれ思っていることを知る貴重な時間となりました。今後も、このような時間を作って子どもたちの考えや意見を施設運営に活かしていきたいと考えています。

今年の夏休みを振り返ってみましたが、少し気の早い話になりますが、来年の夏休みは、オリンピック・パラリンピックに日本中が沸き上がった熱い夏になっていることでしょう。

**職員寄稿**



「給食室」

給食室 主任 大井隆二

平成元年に入職して、今年31年目を迎え、元号も平成から令和へと変わり、多くの子どもたちと出会い、子どもたちに食事を提供してまいりました。残すところ数年で自分自身も退職を迎えることとなりますが、今まで衛生面、安全面を第一に仕事に取り組んできましたが、これからも今まで以上に意識を高め、子どもたちが喜んでくれる食事作りを心掛けていきます。

また、昨年度は、田中会長賞をいただき、誠にありがとうございました。

「肖像の断片」

子供の町 心理士 薊 奈保子

仕事柄か時代か、子どもたちと一緒に母子手帳を見る機会が増えている。母子手帳にはとても多くの情報が、しかし非常に限られた情報が載った情報で書かれている。直筆で書かれた両親の名前、母親の身長・体重、子ども自身の名前、発育状況、コメント…etc. これらの情報と、筆圧、文字の形、大きさ、書かれている内容などから、彼らの親はどのような人だったのだろうかと思像してみる。一体どのような気持ちで母子手帳を受け取り、どのような気持ちでこの記録を書いていたのだろうか。両親についての記憶がない子どもと一



緒に、「こうかな」「ああかな」と空想を共有し合う。事実も正解もわからず、一緒に迷路に迷い込むような感覚である。正解のない中を誰かと一緒に迷った体験は、彼らの中にどのように残るのだろうか。



**堂平山登山** **さいたま市山岳連盟様**  
 のご招待で、6月29日  
 から30日に、堂平山登山に行ってきました。

「雨の堂平山」

エンジェルホーム

家庭支援専門相談員 菅野 貴

今回で2度目の付き添いとなった堂平山のハイキング。今年度は男の子8名女の子5名、13名の参加でした。思いのほか多くの子どもたちが参加してくれました。

雨天でできることは限られていましたが、自分たちでうどんを作ったり、夕食づくりを手伝ったり、テントの立て方や山の登り方などを教わったり、様々なことを経験できたと思います。猪鍋もおいしかったです。

来年も機会があれば、雨の少ない時期に

実施し、きれいな夜景を見せてあげたいと思っています。



「思い出いっぱい堂平山」

子供の町 ひまわり 中1 M. I.  
6月29、30日に色々な思い出を作りました。1つ目は友だちや大人との楽しい時間を過ごせたこと。2つ目は、カレー作りです。ちょっとむずかしかったけど、おいしくつくれました。楽しかったです。

夏休み

宿題、部活、プール、

旅行…楽しかった夏休み！

思い出いっぱい夏休み！！

「かきかつどう」

子供の町 ゆり 小1 N. O.  
かきかつどうでいちばんたのしかったことは、イバライドでのったゴーカートです。はやくて、うんてんがたのしくって、すずしかった。

「10000 まんにんプール」

エンジェルホーム 5A寮小4 A. H.  
7のかにプールにいきました。ウォータースライダーにのりました。たのしかったです。またいきたいです。ドキドキします。おともだちとあそびました。おひるごはんはたべにいきました。おいしかったです。またたべたいです。

「ホームカミングデイ」

エンジェルホーム 6寮 小1 A. K.  
ぼくは、こぼとようちえんのホームカミングデイで、ながしそうめんをやりました。そうめんととまとときゅうりがながれてきました。いっぱいとれてたのしかったです。あとは、あかげのアンをげきでやりました。おぼえていなかったのだからできなかつたです。

でも、たのしかったです。

「思い出を残した

ソフトの合宿！」

子供の町 たんぼぼ 中1 R. S.  
僕はソフトクラブの合宿に行きました。苦手なバッティングに力を入れました。大会に向け全力を出し練習しました。練習とは別でみんなでゲームをしたことが楽しかったです。大会ではヒットを打つことが目標です。

「部活だらけだった夏休み」

子供の町 3寮 高1 Y. Y.  
8月の後半に選手権に向けた練習が始まりました。選手権の初戦が8月22日なので絶対に勝てるように頑張っていきたいと思います。僕も試合に出場できるように頑張る練習してなるべくケガをしないような体づくりをしていきたいと思います。





「夏の思い出・むさしの村×リーゴランド」

子供の町 すみれ 年長 M.N.

### 「プール外出」

エンジェルホーム 5B寮 山下 由記

8月の夏休みに寮の外出で高校生から幼稚園生までの10名ほどの子どもが、県外のプールに行きました。小学生は学校のプールで練習をした、だるま浮きやバタ足を見せてくれました。曇り空で気温は高くならず、帰り際には大雨と雷がなる日でしたが、子どもたちは1日大はしゃぎで思う存分遊ぶことができました。

### 「夏休みの思い出」

エンジェルホーム 9寮 清水郁実

私はこの夏、様々な経験をする事が出来ました。その中でも夏季活動と、寮での宿泊外出です。夏期活動では、小学三年生と一緒に長瀬に行きました。初めてのラフティングをしたり、花火、バーベキュー、マス釣りをし、とても濃い二日間になりました。また、他寮の児童と関わる事が余りないので、関わる事が出来て楽しかったです。寮の宿泊外出では、鍾乳洞や夜にはバーベキュー、

肝試しをして普段とは違う子どもの様子を見ることが出来ました。ケビンに泊まり自然に触れる事が出来て、充実した夏休みを子ども達と過ごすことが出来ました。

### 「小6夏季活動」

子供の町 すみれ 中野愛香

今年の夏休みは、小6夏季活動で、群馬県に行ってきました。今回は、ミッションをクリアするゲームでは、小6のパワーに圧倒されました…。相手のチームに勝とうと走る走る(泣) 関東一大きい鍾乳洞も、ミッションの答えを見つけるために、上り下り激しい洞内をもの凄い早さで進みました。もちろんへトへトでしたがそれも良い思い出です♪子どもたち必死でしたが、カメラを向けるとしっかりピースをしてくれる小6のみんな、とても可愛かったです^^

### 「糠漬けの思い出」

子供の町 菜の花 高橋典子

糠漬けでスタートした夏！野菜が苦手な子でもビタミンが沢山摂れると始めてみたら皆笑顔で食べてくれた。「まごわやさしい」を一緒に考えると作ってみたいの声あり。餃子や蛸焼き、ハンバーグ、パン等買い物から調理まで共に経験出来た。糠がしみ込む様に職員の思いが子どもたちの心にもしみ込んで欲しいと願う。協力頂いた皆様に感謝したい。



「夏の寮外出」

子供の町 3寮 石原 知春

今年の3寮の夏の外出は、フェリーで富津へ行ってキャンプをする予定でしたが予想より雨が酷くキャンプは断念。日帰り寮外出になりました。子どもたちが楽しみにしていたフェリーには乗ることができ何人か船酔いする子もいましたがみんな初フェリーに大興奮でした。

これからも子どもたちが色々な経験ができるよう、子どもの頃の楽しかった思い出を増やしていけるように一緒に生活していきたいです。



「ボールにいったよ。たのしかった！」

子供の町 わかば 年中 Y.R.

施設球技会

8月19日、

施設球技会が行われ

ました。残念ながら2回戦負けでしたが、みんなキラキラ輝いていました！

「ソフトの大会」

エンジェルホーム 9寮

ソフトボールクラブ 主将 高2 T. H.

僕は夏休みにソフトボールの大会に参加しました。



一回戦目はあいせんAと戦いました。ヒットを3本打ち、チームも11-3で勝つことができました。

二回戦目は雀幸園と戦いましたが、相手は強く負けてしまいました。とても悔しかったので、来年は優勝できるように頑張りたいです。

「ソフトボールクラブ

・親善球技大会を終えて」

エンジェルホーム 9寮

ソフトボールクラブ 監督 橋本直樹

ソフトボールクラブの監督をしてから3年目の夏が終わりました。

今年度も5月から、練習を開始し、職員との交流戦、夏休みには合宿を行い大会に臨みました。一回戦目は愛泉寮のAチームと試合し3回まで僅差の接戦でしたが3回の攻撃で7点と大量得点を取り、11-3で勝利を収めることができました。



二回戦目は、雀幸園と対戦しました。相手チームは強く、全く歯が立ちませんでした。しかし、子ども達は必死に声を出し、チームメイトを励まし合い全力でプレーしていました。

そんな中、一番心に残ったシーンは、一

人の選手がミスをし、落ち込み、不貞腐れてしまい、チーム全体が盛り下がってしまい、「このまま負け、職員も子どもにも苦い思い出として残ってしまう」と思っていた時に、ミスをした選手が時間を置き、気持ちを



切り替え、人一倍声を出し、チームの雰囲気をはらりと変えました。その後の攻撃では3点取ることができました。試合としては負けてしまいましたが、子どもの心の強さを感じる出来事でした。

子どもたちの成長は目には見えにくいかもしれませんが、これまでの活動を通して、子ども達なりに考え、行動し、一つ一つ成長しているということに気が付きました。

1回戦

	1	2	3	4	5	計
愛泉寮A	0	1	2	/	/	3
子供の町	2	2	7	/	/	11

2回戦

	1	2	3	4	5	計
雀幸園	0	12	13	/	/	25
子供の町	0	0	3	/	/	3



**夏祭り**      **8月25日、**  
**たくさんのお客様、ボラン**  
**ティアさん、卒園生と一緒に、**  
**今年も盛り上がりました！**  
**楽しかったね(^o^)**

「夏祭り」

エンジェルホーム 6寮 小島昇

子供の町夏祭りは、沢山の来賓、卒園生、退職した職員の方が訪れ充実したものとなりました。

子どもや卒園生らの交流風景を眺めていたら、私の中で「子供の町の歌」の歌詞が思い起こされました。

♪～希望に燃ゆるこどもらの 集うところよ子供の町

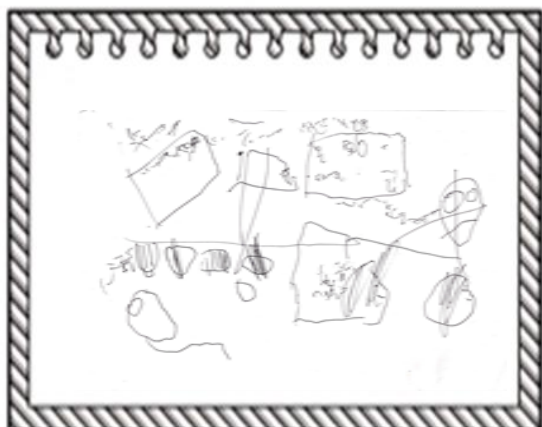
夏祭りは、歌詞のように卒園生らが集い交流を生む場を作り、子ども含めみんなが憩い、同じ時間を共有する大切な場となりました。その場づくりに係として携わる事ができ嬉しく思います。

「夏祭り」

子供の町 たんぽぽ 高3 R. M.

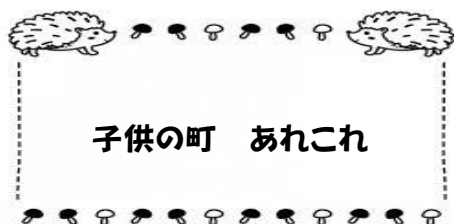
僕が夏祭りの実行委員会として頑張ったことは始まる前の準備でテントを運んだりテーブルを持って行った事です。僕はもぎ店係でポップコーンを作りました。機械を運んだりして準備をしました。初めてやったけどうまく作れて皆に食べてくれて良かった。片付けで使った道具を片付けました。協力して祭りができて良かったです。





「なつまつり」

エンジェルホーム 年中 N.F.



◆6月29～30日「ナイトハイク45キロ」(児童養護施設カルテット主催) 雨中完歩。

今回は子供の町10名エンジェルホーム2名が多数の希望者の中から抽選で参加権をゲットしました。18時に葛西臨海公園を3グループに分かれて出発。私たちCチームは第1休憩所(大島小松川公園)に19時半に到着、夕食のお弁当をいただき30分休憩後の20時出発。ここでA・Bチームに先行されました。Cチームは目標8時半到着なのでマイペースでいいのです。第2休憩所(堀切駅前)に21時50分到着。25分休憩、22時15分出発。第3休憩所(扇大橋下)に23時25分到着。ここではサポート隊がブル

ーシートを敷いて待機してくれており、靴を脱いで素足で横になって休息がとれました、最高! 24時再出発、第4休憩所(岩淵水門)に1時半到着、休憩も雨の中で座れる場所もなく辛い。2時出発、戸田橋を3時通過。橋のたもとにある交番の警察官に声をかけられ「ナイトハイクをしています!」と子どもが説明すると「カルテットさんだね!」とご承知の様子。第5休憩所(戸田公園)に3時25分到着。断続的に雨は降り続き、休憩も道路の縁石に座るだけ。衣服も全身ずぶ濡れです。4時出発、夜明けとともに河川敷の小鳥のさえずりが大きくなります。ここからがものすごく長く辛かった。2時間25分かかり、第6休憩所(道満公園)に6時25分到着。両足にマメが出来ている状態、足を引きずりながら歩く中3女児。6時40分出発。ここからも実に長く感じます。後発のカルテットチームに追い抜かされて、目標の8時半到着も危ぶまれたのですが、諦めず歩いた結果、なんとなんと8時半ぎりぎりに到着したのです。

6時前にカルテットに到着した小6女児2名を含む男児グループ、子どもたちに合わせて完歩した新職・2年目の保育士と給食室主任、みんなの頑張りに乾杯!そして、カルテットのスタッフ・ボランティア、サポート隊の男性職員たちに感謝いたします。

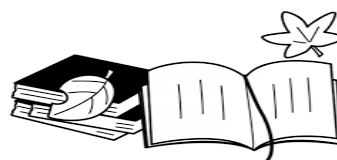


◆8月19日埼玉県内親善球技大会(ソフトボール)において、Aブロック1勝1敗。

小学4・5・6年生が半数を占めている新チーム、昨年度の戦力では「大会で1勝するのは数年先かな?」とさえ思っていました。高校生が多い相手チームに<11:3>で勝ったのです。キャッチボールもままならず、守備位置を審判員に確かめていた子どもたちが、素晴らしい成長です。監督・コーチ・マネージャーを担う職員たちの喜びとビールの味は格別だったことでしょう。

うです。なんと、中古住宅(戸建て)を購入して引っ越したとのこと。「狭いけど落ち着きますね」としみじみ語ってくれました。彼はこのことを担当していた職員に話したかったのです。帰り際、昨年に続いて寄付金を差し出したので「自分と将来の家族のために蓄えてほしい」とお断りしました。誠実さに感激!

◆お菓子と清涼飲料水の入った袋を両手に下げて、卒園生のK君(28才)が来訪しました。担当していた職員は退職しており、残念そうな表情。高卒で入社した会社の社員寮に10年間入居、漸く寮を出たそ



令和元6月～9月に寄付金・寄付品を頂いた方々(順不同・敬称略)

(株)アイム  
 (株)アイエヌジー  
 荒木 嗣則  
 (株)イシモ建設グループ親睦会  
 井上 修  
 井上 政雄  
 (株)UYEKI  
 内堀医院  
 大澤 嶺磨  
 大森機械工業(株)  
 お菓子の家 スワン  
 春日部地区更生保護女性会  
 加藤 春代  
 北田 幸一  
 小越 丈夫  
 腰越 三恵子  
 越原 光子  
 コストコ新三郷倉庫店  
 小林 勇  
 (株)ゴルフ・ドゥ

笹本 美絵  
 三州製菓(株)  
 白石 和代  
 新日本ビルサービス(株)  
 瀬田工業(有)  
 (有)人事・労務  
 (株)スリースター商会  
 立石 美香  
 田中 文男  
 田中 靖孝  
 (株)太平  
 太平 内牧夢らんど  
 太平 かすかべ夢らんど  
 太平 杉戸夢らんど  
 太平 平方夢らんど  
 太平 エルアンドエル  
 太平ブレイランド関宿店  
 (株)チュチュアンナ 1%クラブ  
 (株)徳洲会  
 中嶋 郁子

中田 弘  
 中本 なほ子  
 西中 千人  
 長谷川 浩一  
 林 ふとん店  
 藤巻 輝成  
 富士見乳児院  
 (株)松本商会 松本伸一郎  
 みねたふぁーむ百笑家 峯田 光弘  
 一般財団法人 みらいの子ども達へ  
 宮田 直司  
 三井住友以上火災保険(株)  
 吉野 國彦  
 楽園 南越谷店  
 ロッテリア  
 和田 悦子  
 他 匿名の方

子どもたちのために、たくさんのご支援ありがとうございました